

令和4年5月18日（水）

「地区総体（各種大会）、コンクールを控えた皆さんへ」

今回は、タイトルが関係の皆さんへの宛先になっています。私自身が部活動顧問をしていた頃の回想になりますが、次の文章を読んでみてください。

～ 平成25年 3年学年通信（文責：青山）の一部抜粋です ～

顧問をする上で、毎年、同じように情熱を傾けているのですが、3年間、部活動以外も含めて持ちあがってきた生徒たちが、最後の瞬間を迎えるとき、「この子たちと、苦しいこともあったけど、一緒に頑張ってきて良かった」と強く感じます。

今年、私が担当する女子バレー部には3年生は3名しかいません。技術的にも、心の部分でも満点とはなっていませんが、彼女たちの成長とバレーが好きであるという気持ちは、いつも強く感じながら指導する3年間でした。各部活動の3年生は、もし、地区大会を勝ちあがることのできない場合、6月の中旬をもって部活動を引退します。（目標は、上位大会だと思いますが・・・）実質、あと1ヶ月しか時間はありません。この1ヶ月をどう過ごすか・・・？入部当初から、部活動の指導で私が何度となく繰り返し話したことを3年生全員に送ります。

「この時間を1分でも1秒でも（1本を）大切にしてほしい、時間は有限だ！」

「人に愛される人（チーム）になろう。人に応援してもらえる人（チーム）になろう。そのためには、自分が人のために尽くすこと、自分の言動に責任を持つこと。」

時間は巻き戻しのきかない代物であることを、失ってみて気付くことが多いです。しかし、そういった思いをする生徒が少しでも少なく、「やりきった！やってきて良かった！！」と満足して終わってほしいと願っています。（もちろん、上位の大会やコンクールへ出場出来た場合も感謝を忘れてはいけません。） ～以上、抜粋文～

いよいよ3年生にとっては勝負の約1ヶ月。実質的な時間はこれより短いですが、これ以上はないと思える努力（練習、感染症対策）をし、それぞれが次への一步を最高の形で踏み出せるよう、心から応援しています！！